

# 中期経営計画（2019-2021）における取り組み状況

〔2019-2021(R1-3)年度の進捗・達成状況及び計画の一部見直し〕

表中の朱書き部分：新型コロナウイルス感染症の影響により計画の一部見直し箇所

- ・交通安全対策の継続的な実施
- ・逆走車や歩行者等の立入対策の実施
- ・ネックス・プラザを活用した地域社会との交流

第1章 さらに使いやすい名古屋高速 ～元氣な「名古屋都市圏」づくりへの貢献～									
取組項目		目標 (取組内容)	2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	
1	都心へのアクセスの向上	(1) 都心へのアクセス向上の取組み	名古屋駅周辺交通基盤整備方針に示された出入口の追加・改良等の事業化	—	黄金・新洲崎の都市計画変更、丸田町JCT南渡り線整備の方針公表	—	黄金・新洲崎の事業化栄出入口・西渡り線の都市計画変更	—	設計、関係機関との協議等実施、栄・丸田町JCTの事業化
		(2) 高速道路ネットワークの更なる充実	「南渡り線」の事業化に向けた検討及び関係機関等の協議・調整	—	「南渡り線」の公表と計画案の検討	—	「南渡り線」の都市計画変更	—	同上
2	ネットワーク機能の発揮	(1) 名古屋西JCT建設工事の着実な推進	目標1 名古屋西JCT整備完了	工事	工事	完了	完了		
3	より利用しやすい料金	(1) 新たな料金体系への取組みの推進	お客様がより利用しやすい料金体系の実現	—	料金認可	—	取組みの推進	—	料金改定及び料金改定後のフォローアップ
第2章 さらに確かな名古屋高速 ～安全・安心の徹底～									
取組項目		目標 (取組内容)	2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	
1	更なる交通安全対策の実施	(1) 交通安全対策の継続的な実施	目標2 総事故件数	920件	887件	887件	635件	880件 750件	644件
			目標3 死傷事故率 ※死傷事故率：1万台の車が1万km走行した場合に起こる死傷事故件数を表す指標	5.7件/億台キロ	6.7件/億台キロ	5.7件/億台キロ	3.8件/億台キロ	5.6件/億台キロ	5.4件/億台キロ
		(2) 逆走車や歩行者等の立入対策の実施	目標4 対策箇所数	5箇所	5箇所	10箇所 (累計)	10箇所 (累計)	15箇所 (累計)	22箇所 (累計)
		(3) 交通安全啓発活動の実施	各季の交通安全運動を始めとする交通安全啓発活動の実施	—	実施	—	実施	—	交通安全情報の提供(HP)
2	大規模修繕の着実な推進	(1) 大規模修繕計画に基づく事業の推進	目標5 大規模修繕完了延長 ※大規模修繕完了延長：大規模修繕対象箇所(37.9km)のうち、床版下面からの修繕が完了した供用延長の割合	35%	38%	45% (累計)	48% (累計)	60% (累計)	61% (累計)
3	維持管理の高度化・効率化と着実な点検・補修	(1) 新技術を活用した維持管理の高度化・効率化	ICT等の活用による道路構造物の維持管理の高度化と効率化	—	3次元点群データ及び広視野角カメラによる映像の取得	—	効果検証の取りまとめ	—	調査結果取りまとめ
		(2) 着実な点検の実施と点検の精度向上	目標6 橋梁の点検率	18%	18%	42% (累計)	42% (累計)	54% (累計)	54% (累計)
		(3) 計画的な維持補修工事の実施	目標7 道路構造物保全率 ※道路構造物保全率：早期に補修を必要としない橋梁数(径間数)の割合(大規模修繕対象路線を除く)	90%	96%	90%	91%	90%	90%
		(4) 快適な走行を提供する舗装の補修	目標8 快適走行路面率 ※快適走行路面率：舗装路面総延長のうち、高速走行でも快適で安定した走行が可能となる舗装路面が占める割合	97%	99%	97%	99%	97%	99%
		(5) リフレッシュ工事の実施	交通規制が必要な作業を集約した「リフレッシュ工事」の計画的な実施	—	都心環状線リフレッシュ工事の実施	—	都心環状線リフレッシュ工事の実施	—	大高線(上り)リフレッシュ工事の実施
4	道路法違反車両に対する取締・指導の強化	(1) 取り締まりの強化	目標8-2 愛知県警高速道路交通警察隊との合同取り締まり回数	—	重点的な取り締まり及び機器による常時取り締まりの実施	6回	6回	6回	6回
5	南海トラフ地震を始めとした自然災害への対応力向上	(1) 災害時の業務継続に向けた防災拠点整備の推進	目標9 受変電施設の津波浸水対策完了(短期)	工事	対策完了				
			目標10 整備部社屋の改修	工事	工事	改修完了	改修完了		
		目標11 防災拠点の電源確保	工事	工事発注	工事	工事着手	供用開始	6/7箇所整備完了	
		(2) 実践的な訓練による災害対応力の向上	目標12 各種訓練の実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施

第3章 さらに走りやすい名古屋高速 ～快適さとサービスの向上～

取組項目		目標 (取組内容)	2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
1	継続的な渋滞対策の推進	目標13 都心環状線の渋滞損失時間	(対策立案)	■丸田町JCT: 対策実施及び効果確認 ■明道町JCT: 経過観察 ■錦橋出口: 実検証中 ■黄金出口: 対策実施及び効果検証	(対策立案)	■丸田町JCT: 効果確認 ■錦橋出口: 実運用に向けた追加検討・関係機関協議 ■黄金出口: 追加対策立案・関係機関協議・対策実施	19.5万台・時	5.4万台・時
		(2) 小牧北出口、一宮東出口・一宮IC連絡路における渋滞対策	渋滞要因の調査・分析及び関係機関との協議等	—	■小牧線: 調査準備 ■一宮線: 渋滞調査分析	—	■小牧線: 調査準備 ■一宮線: 渋滞調査分析	—
2	交通事故・工事に伴う渋滞の縮減	目標14 交通事故処理に伴う渋滞時間の短縮	68分以内/件	68分以内/件	68分以内/件	67分以内/件	68分以内/件	64分以内/件
		目標15 工事に伴う渋滞の発生及び影響の軽減	40時間/年	35時間/年	40時間/年	14時間/年	40時間/年	10時間/年
3	雪水対策の強化	(1) 降雪・積雪時等の通行確保の強化	—	関係機関調整	—	関係機関調整	—	降雪・積雪時の通行確保の強化
		目標16 雪水作業の効率化の推進	実施	実施	実施	実施	実施	実施内容の精査及び改善項目の整理
4	道路交通情報提供の充実	目標17 道路情報板の視認性向上	33%	33%	43% (累計)	43% (累計)	53% (累計)	43% (累計)
		目標18 ETC2.0の普及促進	19%	19%	21% (累計)	21% (累計)	25% (累計)	23% (累計)
5	お客様とのコミュニケーションの推進	(1) お客様の声の反映	—	改善実施	—	改善実施	—	改善実施
		(2) お問い合わせへの的確な対応	—	適切な応答実施	—	適切な応答実施	—	適切な応答実施
		(3) 料金所サービスの向上	—	料金所巡回調査の実施	—	料金所巡回調査の実施 釣り銭機の整備	—	料金所巡回調査の実施
		目標19 総合満足度 ※総合満足度: お客様満足度調査による5段階評価の点数	3.60以上	3.71	3.80以上	3.57	3.80以上	3.65
6	自動運転への対応	(1) 自動運転の実用化・普及への適切な対応	—	あいち自動運転推進コンソーシアムへの参画	—	自動運転に関する情報収集及び意見交換	—	自動運転に関する情報収集及び意見交換

第4章 社会的責任の遂行

取組項目		目標 (取組内容)	2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
1	工事の品質確保と安全管理	(1) 施工プロセスの着実な実施	—	実施	—	実施	—	実施
		目標20 品質確保に向けた契約制度の改善	検討	低入札時の対応強化実施	入札参加資格の見直しについて [制度化・周知]	低入札時の対応強化実施	入札参加資格の見直し 低入札時の対応強化	入札参加資格の見直し実施
		(3) 工事故防止に向けた安全管理の推進	—	実施	—	実施	—	実施
2	環境保全への取り組み	目標21 道路照明LED化の推進	19%	19%	30% (累計)	30% (累計)	39% (累計)	39% (累計)
		(2) エコドライブ啓発活動の実施	—	啓発活動の内容検討と実施	—	啓発活動の内容検討	—	啓発活動の内容検討と実施
3	事業運営の信頼性向上	目標22 コンプライアンス等の徹底	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		目標23 情報セキュリティ対策の強化	100%	100%	100%	100%	100%	100%
4	地域社会との共生	(1) 自治体や大学等への技術提供・情報発信	—	大学での講義等の実施	—	大学での講義等の実施	—	大学での講義等の実施
		目標24 ネットクス・プラザを活用した地域社会との交流	130団体以上	218団体	130団体以上	45団体	130団体以上 70団体以上	85団体
5	積極的な情報発信	(1) 多様な媒体による情報発信	—	各種広報活動の実施	—	各種広報活動の実施	—	各種広報活動の実施
		目標25 設立50周年記念事業の実施	資料収集及び編さん作業	資料収集及び編さん作業	資料収集及び編さん作業	資料収集及び編さん作業	発行	発行

第5章 経営基盤の強化

取組項目		目標 (取組内容)	2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	
1	～財務基盤強化・経営合理化～ コスト削減・効率化と 戦略的な資金調達	(1) 予防保全等による構造物の長寿命化	ライフサイクルコスト低減による大規模修繕等の着実な実施及び技術基準の見直し			(再掲)			
		(2) 効率的な維持管理	新技術の積極的な活用による維持管理コスト増大抑制のための効率的な維持管理の実施			(再掲)			
		(3) 工事関係書類等の削減	目標26 工事関係書類等の削減の実施	調査	調査	調査	調査	実施	実施
		(4) 積算業務の効率化	主要資材の適正単価の採用、積算基準の見直し ／新積算システムの構築	—	実施／構築作業	—	実施／運用開始	—	単価や積算基準の 改定実施
		(5) 光熱費の削減	道路照明及び整備部社屋改修に合わせた事務所照明のLED化による消費電力量の削減			(再掲)			
		(6) 戦略的な資金調達	目標27 個別投資家訪問数	50件以上	55件	50件以上	51件	51件以上	79件
2	～組織基盤強化～ 職員と組織の能力発揮	(1) 職員の人材育成及び技術力等の向上	目標28 公社業務に関連した資格取得者数	5名以上	6名	10名以上 (累計)	11名 (累計)	15名以上 (累計)	19名 (累計)
		(2) プロジェクトの推進を図るための組織づくり	重点的な人員配置及び能動的・効率的な組織づくり	—	次年度組織体制への 反映	—	次年度組織体制への 反映	—	次年度組織体制への 反映
		(3) ワークライフバランスの推進	目標29 年次休暇の平均取得日数	13日	12.4日	14日	12.9日	14日	13.7日
3	～事業推進基盤強化～ 確実な事業推進	(1) 重要施策間の連携強化	事業間調整会議による工程等の共有及び一体的な調整・課題解決	—	事業の推進	—	事業の推進	—	事業の推進